

友愛

No. 130

令和3年5月25日発行

さぽーとステーション ゆうあい



4月1日

サポートステーションゆうあいが
オープンしました

清水友愛の里から

作業グループ慰労会

令和三年三月十七日水曜日に、令和二年度日中活動班作業グループの慰労会を行いました。

例年では、友愛の里訓練棟に於いて、



お菓子やジュースを飲食し、カラオケ等を楽しんで、一年を労つて頂く予定ではありませんでしたが、新型コロナウイルス感染症予防の為、作業グループは作業棟で行い、時間を短縮し、小規模ではあります。慰労会では、ドーナツ、ジュースを飲食して



喜ばれており、とてもリラックスして過ごされておりました。慰労会の最後に一人ずつ令和二年度の感想を聞き、「しつかり頑張った」や「ケガしないで頑張れた」、「四月からも椎茸作業を頑張りたい」等の言葉も聞かれ、短い時間ではありましたが、慰労会を行い、年度を締めくくることが出来ました。

令和二年度では、椎茸作業の原木の植菌作業から始まり、春から初冬にかけてホダ木の移動、ホダ木の水揚げ、水浸け、訓練棟にある畑でのトマトやかぶ、枝豆などの栽培、畑の維持管理、冬期間は除雪を主に行い、一年を通して大きな事故、怪我無く一生懸命に作業を行うことが出来ておりました。令和三年度についても引き続き、よりよい作業を提供し、うがい、手洗いなどの感染予防を徹底し、安全を第一に考え、作業グループ一丸となつて頑張つていきたいと思えます。

(支援員 岩倉具也)

家政班慰労会

三月十七日家政班の慰労会を実施しています。家政班の仕事は、利用者が使用するトイレ、食堂、浴室等毎日きれいに掃除をしてくれています。日頃の感謝と毎日仕事をして疲れた体を癒す目的として行いました。

今回はコロナ感染流行防止の為、何処かに行つて行うという事は難しく、グランド横の訓練棟の中で行いましたが、ジュース、ケーキを飲食し、好きなジュースを選び、ケーキについてはくじ引きを行い、くじ引きの順番にケーキを選びましたが、選んでいる最中から終始笑顔がこぼれていました。普段食べれないケーキを「美味しい」ととても喜ばれていました。四月から家政班の数名がさぽーとステーションゆうあいへ異動となる利用者もあり、皆揃って仕事を一緒に行うのが三月いっぱいであり、「寂しいね」と言う利用者さんもいましたが、慰労会を行うことで、いい思い出になった



のではないかと思います。

(支援員 西本日出子)



さぽーとステーションゆいあいから

高齢者支援班

令和三年四月一日より、さぽーとステーションゆいあいにて、「デイセンター憩いの丘」が開設され、「高齢者支援班」という活動班ができました。活動の目的として、日々の生活に生きがいを持ち、創作、運動活動の楽しみや、運動機能・精神機能低下の防止や維持・向上を目的としています。

活動内容として、機能訓練室でエアロバイクや、ランニングマシン等を使用して軽運動を行い、運動・身体機能の維持、向上を目的として運動を実施し、また、運動の楽しみを高齢の利用者に知ってもらう活動となっています。その他の活動としては、気分転換を兼ね、一週間に数回、歌う事が好きな利用者は音楽室でカラオケの実施や、創作室で縫い物や折り紙、塗り絵といった創作活動や、ジエング等のレクリエーションも行っています。



す。今後は、暖かくなってくるので、施設周辺の散策や、ドライブの実施、余暇的活動として、調理実習等を実施していく予定です。

(支援員 佐藤 祥至)



生産活動班

この四月より新しく「生産活動班」が活動をスタート致しました。現在は、施設内の清掃や近隣のごみ拾い、雑巾縫い等を行っています。友愛の里の「家政班」



に所属していた方は、経験をもとに清掃活動は手順良く掃除を行う事が出来ています。「作業グループ」に所属されています。一方は、ホダ木運び等を行っていた事で足元に自信があり、モップ掛けでは施設内を何周もできる体力を生かしています。今後は、食堂内のお仕事にも少しずつチャレンジできるように一緒に頑張っていく目標を立てています。

作業場所が変わった事で、朝の日課は大きく変更されましたが、早起きをして身支度を行う事にだんだんと慣れてきています。メンバーからの話を聞くと、午前の活動は昼食を楽しみに頑張り、午後は帰ってからの余暇の時間を楽しみに頑張る、メリハリのある一日を送っているようです。慣れない事もあり緊張も見られますが、楽しんで意欲的に活動に参加出来るようにしていきたいと思っています。

(支援員 斎藤 友紀)



デイセンターあすなるから

慰労会

毎年ボーリング大会が恒例だった慰労会ですが、今回はコロナウイルスの感染予防のためボーリング場に行くことが難しいと判断し、事業所・作業所内で実施しました。製パン班は二月二十七日に、あすなるの食堂でクレープ作りを行いました。手洗い・消毒は皆さん仕事柄毎日何度も行っていることなので、当たり前前の行動となっていました。



す。手袋も準備して、隣同士の間隔もあけてコロナ対策は万全です。ホットプレートで焼きあがった薄い生地には、「いちご・バナナ・もも・パイナップル」などの色鮮やかなフルーツと「生クリーム・チョコレートシロップ・アーモンド・餡・白玉・アイスクリーム」等のトッピング

をお好みで乗せて包み完成です。皆さんクレープを食べたことはあっても自分で作ることは初めての人が多数でしたが、自分の好きな具材を沢山のせてポリユームのあるものを作る人、少ししかのせずつまめな人、生地を上手に包んでいる人、皆さん自分だけの特別なクレープを楽しく作っていました。皆さん甘いものが大好きなこともあり、終始笑顔で楽しそうでした。クレープを食べ終わってからは、参加賞の景品を工藤所長から嬉しそうに受け取っていました。

緑化班は三月十二日に作業所休憩室でお好み焼き作りを行いました。こちらも十分な広さのある休憩室で、換気をしながら隣同士の距離を取っています。皆さん焼き上がるのが待ち遠しく



て、わくわくしながら待っていました。作る工程から参加できた人はとても楽しそうに焼いていました。ポリユームのある大きなお好み焼きができあがり皆さん大満足していました。食べた後は景品のお菓子をもらい喜んでいました。

両作業班共に今年度最後の行事も外出できなかったことはとても残念でしたが、いつもの場所、いつものメンバーと美味しい食べ物を楽しく食べるという時間も、今はとても必要な時間だと感じます。短時間でしたが、皆さんが仕事のことを忘れて仲間と笑い合える時間を過ごせたひと時でした。

(支援員 下総 美範)



いちばんぼし慰労会

三月二十五日木曜日、慰労会を実施しました。

三月に入り、利用者からは「慰労会はないの？決まったの？」「どこか行こうよ」等の声が聞かれ、コロナ禍で実施するべきか考えていましたが、皆さんが楽しみにしている行事であり規模を小さくしても実施すべきと思いついて進めました。時間帯や内容を計画する中で、いちばんぼし事業所内で活動時間の昼食時にと無理なく安心して行事に参加出来るよう計画しました。

いつもの食事時間でいつもと同じ席：しかし、いつもと違う食事で特別な感じがあり、食事のセッティングの様子を守る利用者の表情は、いつもとは違う表情です。

大きな高級感いっぱいなお弁当とお味噌汁です。蓋を開けると「すごい」「美

味しそう」「こんなに食べられるかな」の声が聞かれました。大きなハンバーグと玉子、フライドポテトにスパゲッティ、唐揚げ、サラダとその他いろいろ入っていました。完食された利用者は、満足な表情であり、美味しかったと好評でした。

余興は、三角くじで楽しみました。くじを手持ち嬉しそうに順番を待ちます。自分のくじ番号が呼ばれると大きな声で返事をして景品を受け取り、包装された中をチェックです。景品を交換し合う利用者や職員に自慢げに見せてくれる利用者、大切そうに自分のカバンに入れる利用者と様々でした。

新規施設に利用者、職員の異動もあり短い時間で過ごした慰労会は思い出たことではないでしょうか。最後にいちばんぼし事業所の前で全員での記念写真を撮り終了しました。

規模を小さくしての実施でしたが、利用者も気分転換になったようです。コロナ禍では、野外での行事が難しく実施回

数も減ると思いますが、小規模であつても利用者が楽しみにしている行事を計画していきたいです。

(支援員 伊藤ひとみ)



新利用者紹介

清水友愛の里

よしだ
吉田 祐之

令和三年四月五日から、清水友愛の里に入所されました。ファミコンのゲームや絵を描くことが好きな男性です。親元から離れての生活となるため、不安や緊張がありますが、徐々に施設生活に慣れていくよう頑張っています。介護グループに所属しており、最初は歩行運動など、身体を動かし頑張っています。

あべ
阿部 匠磨

令和三年三月室蘭高等養護学校を卒業し、四月五日から清水友愛の里に入所しました。日中活動班作業グ

ループに所属し椎茸作業を中心に活動をしています。まだ、慣れない作業に戸惑いがありますが、少しずつ他の利用者と一緒に参加することで取り組めるよう頑張っております。

まえだ
前田 望

お金をいっぱいいためて、欲しい物やグループホームに入れるように、がんばりたいです。ヨロシクおねがいします。

デイセンターあすなる 製パン新規利用者

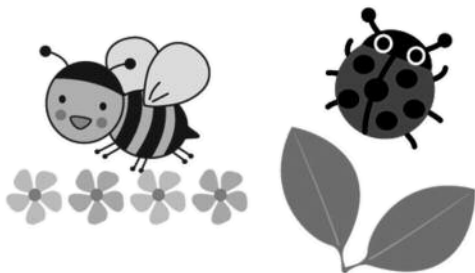
なかむら
中村 勇星

三月に今金高等養護学校を卒業しました。四月からグループホームより通所しています。『趣味はアクシヨ

ンゲームをすることです。体力をつけてパンの仕事を頑張りたいです。』

おちあい
落合 夏海

落合夏海です。仕事は忙しいけど、これまでに積み重ねた日々を糧に充実した日々を送っていききたいです。辛いことがあつても乗り越えて頑張っていきたいと思います。美味しいパンと笑顔を届けます。嵐5人が大好きです。



新職員紹介

伊藤 健

(さぼーとステーションゆうあい 支援員)

令和三年三月一日付

三月一日から、さぼーとステーションゆうあいの地域食堂「ア・ターブル」で支援員として働かせて頂いています。二十年ほど前にも、社会福祉施設の厨房で働いていましたが、その時は、それほど利用者の皆さんと接することは無かったのですが、今回は、利用者の皆さんと一緒に食堂の業務をするという事で、不安もありませんが、先輩支援員の皆さんに色々教えてもらいながら励んでいきます。地域の皆さんと利用者の皆さんが触れ合えて、皆さんに喜んでいただけるような、地域食堂にしたいかならと思っています。どうぞよろしくお願い致します。

浮田 恵

(さぼーとステーションゆうあい 支援員)

令和三年四月一日付

四月からさぼーとステーションゆうあいの支援員として働くことになりました。今までは、老人福祉施設で従事してきました。障害のある方達と関わるのは初めてなので、早く慣れるように仕事を覚え、今までの経験を活かしながら、楽しく仕事をしたいと思しますので、これから宜しくお願い致します。



お知らせ

あぶた福祉会家族の会運営懇談会について

清水友愛の里施設長 木村芳秀

現在も道内の新型コロナウイルス感染症の感染状況は、全国的な感染拡大の中で、札幌市を中心として、感染しやすいときとされる変異株による感染が増加するなど、予断を許さない状況にあります。

こうした中、あぶた福祉会家族の会運営懇談会を令和元年度、令和二年度の開催を中止いたしました。毎年、運営懇談会を通じ、「清水友愛の里」「デイセンターあすなろ」「デイセンターいちばんぼし」「地域サポートセンターふれんど」の事業内容の報告や個別懇談を行い利用者さんの状況報告をする機会としていました。家族の会としても新型コロナウイルスが終息し、運営懇談会の開催が出来るようになることを願っております。

そこで今回は、利用者の状況報告が出来ると思います。令和元年度より新型コロナウイルス感染防止の為、利用者につ

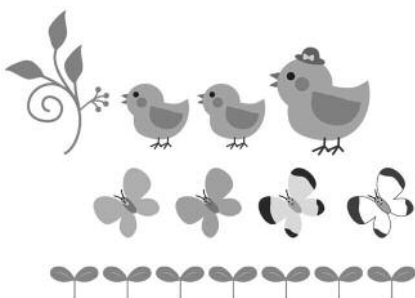
いても外出の自粛、行事の中止など楽しみが少ない生活となっていました。少しでも楽しみが持てる生活をさせてあげたいと思い、施設内で出来ることを、感染防止に努めながら行って来ました。夏には、暑い日が続くと、外にテントを張り屋台の雰囲気を感じ、かき氷を食べたり、又は、たこ焼きを食べたりしました。秋には、焼き芋をみんなで食べました。クリスマス会は、毎年ホテルで行っていましたが、新型コロナウイルス感染防止の為、施設で行いました。食事については、ホテルで行う時のような豪華な食事を富士産業さんが提供してくださり、利用者さんも美味しくそうに食べていました。

令和三年四月から地域生活拠点施設「さぽーとステーション ゆうあい」が開設しました。施設・事業等の機能と役割

を十分発揮し、多種・多様化する地域のニーズへの対応と社会的・福祉的支援を必要とする利用者及びその家族へのサービス提供の充実を図る。併せて、地域福祉の拠点として、その役割と使命を果たし、社会・地域ニーズに即した事業展開を図ることを基本方針とし運営しております。近くに来た際は、お立ち寄りください。

今後も新型コロナウイルス感染防止に努める為、帰省に関しても自粛をお願いしますが、施設・事業所においては、利用者さんが楽しめることを考え、安心して生活できるようにしていきます。

保護者の皆様におかれましても、新型コロナウイルス感染防止に努めていただき、また以前のように直接お会いして、施設・事業所の現状報告や利用者さんの状況報告が出来るようになればと思います。



永年勤続表彰



四月一日に永年勤続者への表彰が行われました。長きにわたり有難う御座いました。

上段左側から、原 文枝さん、森糸静子さん、佐藤一恵さん、丹野法子さん
下段左側から、下総美範さん、水戸雅弘さん、藤澤恵美子さん、高橋和子さん

御寄付・御寄贈品

令和三年一月から四月まで

一月度

◆寄付物品◆

和田 商事 様

洞爺湖町

◆寄付金◆

中村 美容室 様

洞爺湖町

二月度

◆寄付物品◆

原田 武夫 様

伊達市

三月度

◆寄付物品◆

公益財団法人24時間テレビ
チャリティTEE委員会 様 東京都

中村 新次郎 様

倶知安町

◆寄付金◆

木村 祐賢 様

洞爺湖町

四月度

◆寄付金◆

吉田 勅 様

登別市

田淵 一夫 様

壮瞥町

さぽーとステーションゆうあい竣工にあたり、多くの皆様から、御寄贈品等頂き、有難う御座いました。

赤川 達磨 様

洞爺湖町

あぶた福祉会家族の会 様

洞爺湖町

伊達信用金庫虻田支店 様

洞爺湖町

社会福祉法人

北海道社会事業協会

洞爺病院 様

洞爺湖町

洞爺湖町 様

洞爺湖町

洞爺湖町議会 様

洞爺湖町

岸 さちこ 様

伊達市

山本 家弘 様

伊達市

北海道銀行伊達支店 様

伊達市

有限会社

伊達市

兼万近江家具店 様

伊達市

岩倉建設株式会社 様

苫小牧市

株式会社

室蘭市

KIソリューション 様

札幌市

株式会社創建社 様

洞爺湖町

住吉 栄治 様

洞爺湖町

社会福祉法人

豊浦町

豊浦豊和会 様

豊浦町

株式会社

札幌市

伊藤医科器械店 様

札幌市

善意のご寄付

ありがとうございました

生け花でお出迎え

さぼーとステーションゆうあいの正面玄関内には、「いけばな小原流 翠会」の方のご厚意により、いけばなが飾られており、町民の方や利用者の皆さんの目を引く作品があります。定期的にいけばなの交換もしてくださり、季節の花等で彩られています。「いけばな小原流 翠会」の皆様にご感謝申し上げます。



編集後記

新年度のスタートと共に新規事業さぼーとステーションゆうあいも無事にオープンを迎えました。地域食堂のオープンは未定となっておりますが、スポーツジム同様に町民の方々と共生できる空間を未永く大切にしていきたいと思っております。

昨年同様に新型コロナウイルスの関係で今年も観桜会は中止となりましたが、少人数で桜を見に行ったり、GWは帰省や外出が難しい中でも美味しいものは頂きたいということで町内からケーキを取り寄せて食べたり、新事業に伴った異動により生活リズムが変わった方についてはのんびりと過ごした方も多かったです。肌寒い春も終わり、ようやく晴れ晴れとした天候に恵まれる中、様々な芽生えを感じます。友愛の里では椎茸の自然発生や作業の一環として畑づくりを行ったり、あすなろでは春を感じる新製品も販売しています。陽気に誘われながら、従来とは違う形や取り組み方でも楽しめるような行事や余暇支援に力を入れていきたいと強く感じます。次号では嬉しさで笑顔あふれる写真や記事が掲載出来たらなと思っております。

(w・c)